

カクイオイルキャッチャーの使用例

1. 海上汚染

1) 汚染の状況 写真1

2) 油吸着材の投入 写真2

オイルフェンスで囲まれた汚染海面にカクイオイルキャッチャーを投入します。浮上油の吸着のほか、補助オイルフェンスとして利用します。

3) 油吸着材の回収 写真3

カクイオイルキャッチャーは、最大油吸着量に達する頃を見計らって回収します。

4) 油吸着後の処理 写真4

回収後、資材からの油の漏洩を防ぐために、ビニール袋に入れて一時保管します。又は現場での焼却処理も出来ます。



写真1

海上流出油吸着



写真2

海上流出油吸着



写真3

海上流出油吸着



写真4

海上流出油吸着

2. 工場排水 写真5

油水分離装置では、液面上にカクイオイルキャッチャー(K-50, K-65)を浮かします。

3. 厨房排水 写真6

厨房からの排水の場合、カクイオイルキャッチャー(K-50)を集水枡、グリーストラップに浮かします。

4. 2, 3の使用済シートは産業廃棄物としてお出し下さい。

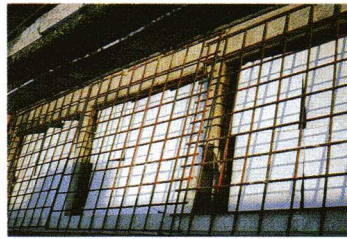


写真5

工場排水の油水分離槽



写真6

厨房排水の処理状況



●油流事故での回収作業

●タンクローリーなどの漏油

●オフィスと工場の間

●厨房排水に

●モーター・機械周りに

カクイオイルキャッチャーの種類



(KR-50)

ロールタイプ

(K-50)

シートタイプ

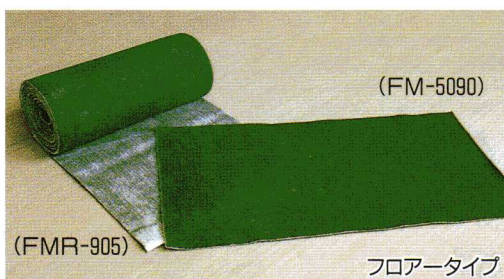


(KN-50)

のれんタイプ



シートタイプ新K50



(FM-5090)

(FMR-905)

フロアタイプ



(KB-500)

バルクタイプ



(KT-100)

チューブタイプ